

福祉教育ニュース

令和5年3月号 ◆ No.63 ◆ 発行 社会福祉法人 千葉県社会福祉協議会

◆編集◆

千葉県ボランティアセンター

〒260-8618

千葉市中央区千葉寺町1208-2

TEL 043(209)8850

FAX 043(312)2886

URL <http://www.chiba-shakyo.jp/vc/>

福祉教育プログラムのご紹介 ～授業で使える福祉教育プログラム集【高齢編】～

今年度、千葉県社会福祉協議会が実施した「小・中学校における福祉教育に関するアンケート」の中で、「福祉教育に関するプログラム提案の支援があると良い」という声が多くありました。

そこで、今回は、2022年3月に千葉県社会福祉協議会から発行された「～授業で使える～福祉教育プログラム集【高齢編】（福祉教育プログラム集＜高齢編＞検討委員会・千葉県社会福祉協議会発行）」の一部内容をご紹介します。これまで、障害分野における福祉教育プログラム集はありましたが、高齢分野に特化したものは珍しく、また、昨年発行されたこともあり、内容が新しいものとなっているため、とても参考になると思います。

以下、2～4ページでは、
「高齢編～わかる～ テーマ②
お年寄りの生活や行動の『なぜ』に
ついて考えてみよう」のプログラム
内容についてご紹介します。



テーマ② お年寄りの生活や行動の『なぜ』について考えてみよう

🌱 テーマについて

街中や家庭で見かけるお年寄りの生活や行動について、特徴的な事柄や、その背景にある『なぜ』を考えます。

🌸 目標（わらい）

お年寄りの生活や行動について、その背景となる理由を整理することにより、高齢者についての理解を深めることができる。

🌸 事前学習や準備

- ・テーマ①を事前学習に充てるとより効果的です。
- ・4人程度の班を作っておきます。
- ・身近な高齢者の生活や行動と自分との違いについて考えさせます。事前課題として、ワークシートを記入させておくこともできます。生徒に調べさせておくのもよいでしょう。

☆授業展開案（おおよそ1コマ：45分～50分の展開です）

配時	学習内容と学習活動	指導上の留意点
導入 (5分)	1 本時のテーマと目標を説明する 「お年寄りの生活や行動について調べてみましょう。 今日は身近にいる高齢者について、『なぜ』と思うことを出し合い、考える機会にしましょう。」	○高齢者について、テレビなどで取り上げられている極端なイメージではなく、日常でよく見かける生活や行動について、他者と共感できるものを考えさせる。
展開 (35分)	2 意見を出し合い、発表する ・身近にいるお年寄りの、自分とは異なる生活や行動について、最初は個人作業として考えさせ、4人程度の班で自由に意見を出し合い、付箋にまとめさせる。 ・ここでワークシートを配布してもよい。 ・付箋にまとめた内容を整理し、似ているものをまとめて模造紙に貼り、まとまりごとにタイトルを付ける。	○教師側で具体例を提示できるとよい。 「歩くのが遅い」 「手押し車（シルバーカー）を押している」 「病院に頻繁に行く」 「朝早く起きる」 「仕事や学校に通っていない」など。 ○他の人の内容を読みながら整理させる。班のリーダーや記録係を中心に進める。 ○ロイロノート®のような協働学習用のツールや電子黒板を活用してもよい。

	・それぞれのまとまりについて、わかる範囲での理由を考える。この場合わからないものは「わからない」としておく。 ・各グループで簡単に発表をする。 ・他のグループのメンバーで理由や原因のわかっていない人に答えてもらう。 ・「わからない」問題について、全員でその理由を考えてみる。	○「わからない」ことについて、こじつけで考えることのないように気をつけさせる。 ○積極的な質問を促す。 ○偏った答えにならないように教師側で誘導する。
まとめ (5分)	3 まとめを行う ・高齢者の特徴的な生活や行動について、その背景や理由が理解できたか、問いかける。	○高齢者についての法律的な位置づけについて解説する方法もある。 ○子どもたちが高齢者の特徴を改めて捉えるとともに、皆が同じではなく、いろいろな高齢者がいることを理解できるようにする。



ワンポイントメモ

- 自分の身近な高齢者について限定して扱ってもよいでしょう。
- 高齢者の優れた行動についても調べさせてみるのもよいでしょう。
- この時間の中ですべての背景や理由が分かるものではありません。実際に高齢者（ゲストティーチャー）をクラスに迎え、インタビュー活動に発展させ、疑問点を解決することもできます。
- 高齢者に対するネガティブなイメージやマスメディアが採り上げている情報に流されないように、自分の考えで話を進めることが大切です。
- 中学生や高校生についても同様の授業を展開することができます。その際、家庭科や保健体育の授業と関連させて実施することも可能です。高齢者の身体的な変化に関して、保健体育的な考えで議論させてもよいでしょう。
- 福祉機器やICTを活用した、高齢者の行動のサポート体制に触れることも大切です。自動車の自動運転や音声入力などについて考えさせることもできます。

※ロイロノートは、小学校などでグループの活動をまとめる際に活用できるタブレット用のソフトウェアです。
 ※このプログラムでは、第三者的に捉える時には「高齢者」、子どもが自分と相対するものとして捉える時には「お年寄り」と表記しています。

ワークシート「お年寄りの生活や行動の『なぜ』について考えてみよう」

年 組 番 氏名

1. お年寄りと自分の生活や行動の面でちがうところを書いてみよう。

	生活や行動のちがい（何が、どんな風に）	どうしてだろう（理由）
1		
2		
3		
4		
5		

2. お年寄りと接する時には、どのようなことに気をつける必要があるか、自由に書いてみよう。

【おわりに】

今回は「～授業で使える～福祉教育プログラム集【高齢編】」の一部内容をご紹介しました。ここでは紹介しきれなかったプログラムや、すぐに使える指導案やワークシート・ふりかえりシート等下記、目次のとおり掲載されていますので、ご興味のある方はぜひご活用ください。

「～授業で使える～ 福祉教育プログラム集【高齢編】」

(福祉教育プログラム集＜高齢編＞検討委員会・千葉県社会福祉協議会発行)

<http://www.chibakenshakyo.com/info.php?cate=top&id=2022022216594868>



目 次

1	なぜ、福祉教育が必要なのでしょう？	2
2	本冊子の特徴と使い方	4
3	福祉教育プログラムの紹介	6
	■ 高齢編 ～わかる～	
①	高齢者ってどんなひと？ みんなで考えてみよう	6
②	お年寄りの生活や行動の『なぜ』について考えてみよう	10
③	発見!! 私のまちで活躍する〇〇さん	13
④	昔と今、ココが違う？ そして変わらないものを探してみよう	17
	■ 高齢編 ～ふかめる～	
⑤	介護って何だろう	21
⑥	デイサービスや介護の仕事について話を聞いてみよう	24
⑦	認知症って、何だろう？ 認知症の基本的な理解と対応の仕方を学ぶ	27
⑧	学校のバリアフリーを考える	33
⑨	お年寄りの生活しやすい社会を SDGs で考える	36
	■ 高齢編 ～体験する～	
⑩	昔遊びをして異世代交流をしよう	39
⑪	高齢者施設に行ってみよう	42
⑫	高齢者疑似体験を通して身体の変化を知ろう	46
★	Pick UP 高齢者疑似体験セット自作方法（例）	50
4	参考資料	51
(1)	高齢者に関する参考資料	51
(2)	学校の授業で利用できる動画のご紹介	52
(3)	福祉教育に関する相談先（市町村社会福祉協議会一覧）	53

◆千葉市社会福祉協議会 「福祉教育支援事業」のご案内◆

本会では、学校での福祉教育・ボランティア学習を推進するため、福祉教育支援事業を実施しています。計画の参考にしていただければ幸いです。

現在、新型コロナウイルス感染症予防対策を行ったうえで貸し出しや事業を実施しています。ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、本会職員、依頼講師はマスクを着用し、検温などの健康チェックを各自行ったうえで訪問します。

- ◆「3つの密」を避け、換気が行える会場で実施する
- ◆体験用具は使用の都度消毒を行い、複数の参加者間の使いまわしは極力避ける
- ◆会場に手指消毒液を設置する

★「ふれあいトーク」

「ふれあいトーク」は、視覚障害のある方が学校に出向き、「日常生活のこと」や「児童・生徒に考えてもらいたいこと」などについてお話しするプログラムです。

実施を希望される場合は、学校所在区のボランティアセンターまでご連絡ください。

聴覚障害については「千葉市聴覚障害者協会」において講師派遣を行っています（有料）。こちらも、学校所在区のボランティアセンターまでご相談ください。



※ふれあいトーク講師の送迎については、本会で行います。

※お申し込みの際には、開催希望日の1か月前（講師によっては2か月前）を目安として、候補日を複数お伝えください。

※講師の都合によっては、ご期待に沿えない場合もございます。あらかじめ、ご了承ください。

★「出張ボランティア・福祉体験講座」

ボランティアセンターの職員が学校に出向き、ボランティアに関するお話や、高齢者疑似体験・車椅子体験の指導を行っています。

プログラムのご相談やお問い合わせは、学校所在区のボランティアセンターへお願いします。



★「福祉体験用具の貸出し」

市及び各区ボランティアセンターでは、福祉教育・ボランティア学習を支援するため、さまざまな福祉体験用具の貸出しを行っています。ご利用いただくには、予約が必要です。

各ボランティアセンターまでお問い合わせください。

◆体験用具の一例◆

＜高齢者疑似体験セット（シニアポーズ・エルダートライ）＞

〔シニアポーズ〕

※取扱：花見川区・稲毛区・若葉区・美浜区・市 VC

〔エルダートライ〕

※取扱：緑区



加齢に伴う自然な身体変化や、脳卒中などの病気の後遺症、けがなどの障害によって生じる身体機能の低下・日常生活の不自由さを体験できるセットです

★福祉体験用具の数量と一覧表

(令和5年1月31日現在)

	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑 区	美浜区	市 VC
高齢者疑似体験セット							
〔シニアポーズ〕		12	12	12		12	12
〔エルダートライ〕					10		
車椅子〔自走式〕	4	11	10	10	10	10	15
白杖〔折りたたみ式〕		50	50	50	40	60	40
〔直杖〕							35
点字器〔通常サイズ〕		35	60	60	60	60	100
〔小型サイズ〕							50
点字マニュアル		25	60	60	60	60	100
視覚障害体験プレートセット		5	5	5	5	5	
視覚障害体験ボードセット							5
マグネットオセロ		7	7	7	7	7	6
点字トランプ		7	7	7	7	7	7
音声電卓		4	7	7	4	7	6
鈴入りサッカーボール		7	7	7	7	7	7
体験用点字ブロックセット			1				1
妊婦疑似体験教材		1		2		2	2

※中央区ボランティアセンターは、車椅子のみの貸出しです。また、駐車場は有料となっておりますのでご注意ください。

福祉教育・ボランティア学習の相談窓口

★区ボランティアセンターは、千葉市社会福祉協議会区事務所が運営しています。

中央区ボランティアセンター



〒260-8511 千葉市中央区中央4-5-1 (Qiball〔きぼーる〕15階)
TEL 043-221-2177 FAX 043-221-6077

花見川区ボランティアセンター



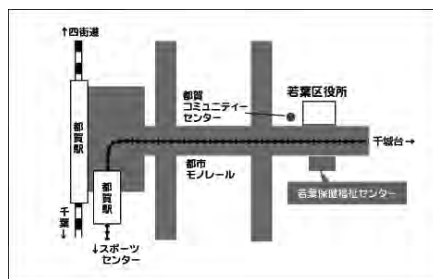
〒262-8510 千葉市花見川区瑞穂1-1 (花見川保健福祉センター3階)
TEL 043-275-6438 FAX 043-299-1274

稲毛区ボランティアセンター



〒263-8550 千葉市稲毛区穴川4-12-4 (稲毛保健福祉センター3階)
TEL 043-284-6160 FAX 043-290-8318

若葉区ボランティアセンター



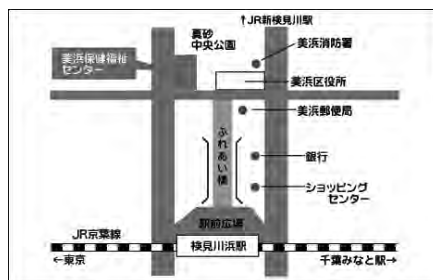
〒264-8550 千葉市若葉区貝塚2-19-1 (若葉保健福祉センター3階)
TEL 043-233-8181 FAX 043-233-8171

緑区ボランティアセンター



〒266-8550 千葉市緑区鎌取町226-1 (緑保健福祉センター2階)
TEL 043-292-8185 FAX 043-293-8284

美浜区ボランティアセンター



〒261-8581 千葉市美浜区真砂5-15-2 (美浜保健福祉センター2階)
TEL 043-278-3252 FAX 043-278-5775

OPEN 月曜日～金曜日 8:30～17:30 第2日曜日 9:00～17:00
(いずれも祝日、日曜祝日の翌月曜日、年末年始を除く)

千葉市ボランティアセンター

〒260-8618 千葉市中央区千葉寺町1208-2
千葉市ハーモニープラザB棟3階
TEL 043-209-8850 FAX 043-312-2886

OPEN 火曜日～土曜日 8:30～17:30
(祝日、月曜祝日の翌火曜日、年末年始を除く)

※各区ボランティアセンターとは開館日が異なりますのでご注意ください。

